

第3回東京都地域医療構想策定に係る意見聴取の場

《日時・会場》（区南部）

平成28年2月1日（月） 16:30～18:00

／東京都医師会 会議室

1 開 会

2 説 明

（1）東京都地域医療構想（骨子）案について

（2）構想区域の特徴について

3 意見交換

構想区域の現状と課題

4 閉 会

【配布資料】

資料1-1 東京都地域医療構想骨子案について（構成）

資料1-2 東京都地域医療構想（骨子）案

資料2 意見交換 ～区南部における現状と課題～

資料3 医療・介護資源の状況

資料4 構想区域の特徴

資料5 構想区域間の患者の流出入状況

資料6 <入院料・疾患別>患者の受療動向（完結率）

参考1 構想区域（地図）

参考2 平成27年度第2回東京都地域医療構想策定に係る意見聴取の場
（構想区域別意見）

意見交換 ～区南部における現状と課題～

<患者の流出入の状況（2025年推計）>

高度急性期	急性期	回復期	慢性期
— (5.4人/日入)	流出超過 (68.0人/日)	流出超過 (46.8人/日)	流出超過 (542.7人/日)

1 流出について

(論点の例示)

○区南部に住む患者を区南部の医療機関で診ている割合 (自構想区域完結率)について

- ・高度急性期～回復期機能
 - 3つの機能とも自構想区域完結率が70%を超え、都内の構想区域の中では最も高い完結率。さらに、流出患者数・流入患者数もおおむね均衡している。
- ・慢性期機能
 - 4機能のうち、唯一、自構想区域完結率が46.5%と低い。都内隣接区域（区中央部と区西南部）で入院している患者を含むと57.0%に高まる。流出先としては、南多摩や神奈川県が多い。

○連携について

- ・患者が転院や退院により、住み慣れた地域（住所地）に戻る際、入院していた医療機関との情報共有、連携が必要となるが、課題は何か。

2 流入について

(論点の例示)

○連携について

- ・入院患者が、円滑に転退院するためには、患者の転院先や患者の住む地域の医療機関等との連携が必要となるが、課題は何か。

3 提供している医療の現状（診療科別、機能別など）

(論点の例示)

- 不足している医療・機能
- 将来に向けて不足することが懸念される医療・機能

特 徴

- 特定機能病院 2施設(2大学病院)
- 救命救急センター 2施設
- 人口10万対の有床診療所病床数が少ない
- 療養病棟入院基本料算定病床数は少なく、高齢者人口10万対で都平均の7割
- 療養型介護療養施設サービス費算定病床数は、高齢者人口10万対で都平均の1.6倍
- 地域包括ケア病棟入院料算定病床数は少なく、人口10万対で都平均の7割

届 出 の 状 況

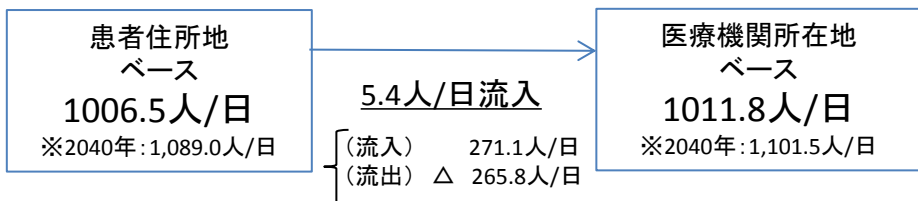
区南部の届出状況	病床数	区南部 人口10万対	都内 人口10万対
特定機能病院一般病棟入院基本料	1448	134.1	97.2
一般病棟7対1入院基本料	3128	289.8	251.4
一般病棟10対1入院基本料	723	67.0	95.1
一般病棟13対1入院基本料	66	6.1	20.0
一般病棟15対1入院基本料	97	9.0	25.5
療養病棟入院基本料 ※1	724	306.3	456.1
療養型介護療養施設サービス費(介護療養病床として使用) ※2	372	157.4	101.5
障害者施設等入院基本料	49	4.5	30.9
特殊疾患入院医療管理料/入院料	0	0.0	2.0
回復期リハビリテーション病棟入院料	332	30.8	40.7
地域包括ケア病棟入院料/管理料	30	2.8	3.7
緩和ケア病棟入院料	44	4.1	3.7

※1は医療療養病床、※2は介護療養病床と読み替え。いずれも、人口10万対病床数は、高齢者人口を使用

【参考】都全域の状況

	一般 病床	療養 病床	精神 病床	特定 機能 病院	大学 病院 本院	救命 救急 センター	在支病	内 高齢者 人口 10万対	在支診	内 高齢者 人口 10万対	訪看 St.	内 高齢者 人口 10万対	特養	内 高齢者 人口 10万対	老健	内 高齢者 人口 10万対
区中央部	8,239	1,699	1,307	6	5	6	3	1.9	184	113.9	65	40.2	2,046	1,266.8	789	488.5
区南部	6,574	1,518	178	2	2	2	5	2.1	145	61.4	71	30.0	2,146	908.0	670	283.5
区西南部	8,239	1,699	1,307	0	0	3	4	1.5	203	75.2	112	41.5	2,592	960.3	1,176	435.7
区西部	9,115	1,498	315	3	3	3	8	3.2	179	72.6	88	35.7	2,495	1,011.5	868	351.9
区西北部	10,671	3,690	3,320	2	2	2	18	4.3	254	60.9	135	32.4	4,712	1,129.2	3,018	723.3
区東北部	7,407	2,092	1,453	0	0	1	15	4.7	133	41.6	97	30.4	4,529	1,417.6	2,965	928.1
区東部	7,331	1,174	165	0	0	1	7	2.3	120	39.9	74	24.6	3,185	1,058.4	2,328	773.6
西多摩	1,925	2,316	2,622	0	0	1	5	4.9	20	19.6	28	27.4	6,802	6,650.6	1,315	1,285.7
南多摩	6,660	3,962	7,227	0	0	2	13	3.8	96	28.3	86	25.4	5,722	1,687.5	2,541	749.4
北多摩西部	3,449	1,150	63	0	0	1	5	3.4	48	32.4	46	31.1	2,254	1,522.1	1,489	1,005.5
北多摩南部	6,384	1,464	3,465	1	1	3	9	4.3	98	46.4	67	31.7	2,223	1,052.7	1,597	756.3
北多摩北部	4,412	1,743	2,193	0	0	1	4	2.3	57	32.5	55	31.4	2,978	1,698.5	1,569	894.9
島しょ	110	6	0	0	0	0	0	0.0	3	33.7	0	0.0	322	3,621.2	0	0.0

2025年推計患者数



流出入の状況



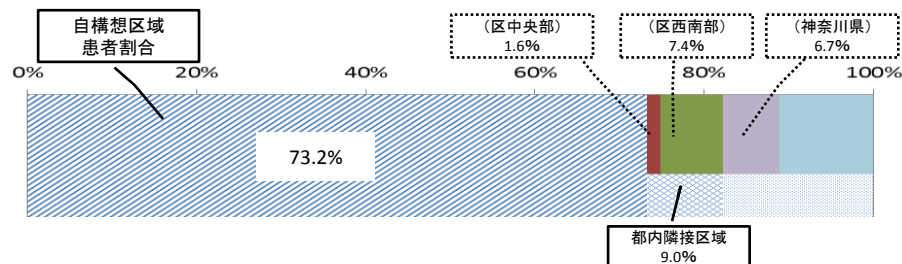
流入

1	区西南部	74.6人/日
2	神・横浜北部	33.1人/日
3	神・川崎南部	23.1人/日

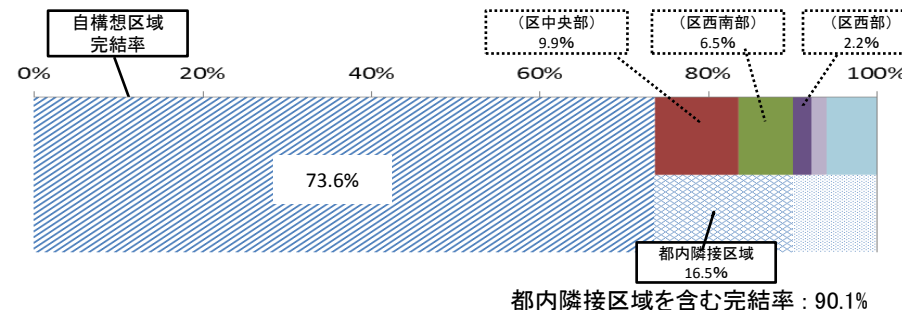
流出

1	区中央部	100.1人/日
2	区西南部	65.6人/日
3	区西部	21.9人/日

(流入) 構想区域内の患者割合



(流出) 構想区域内在住の患者入院先



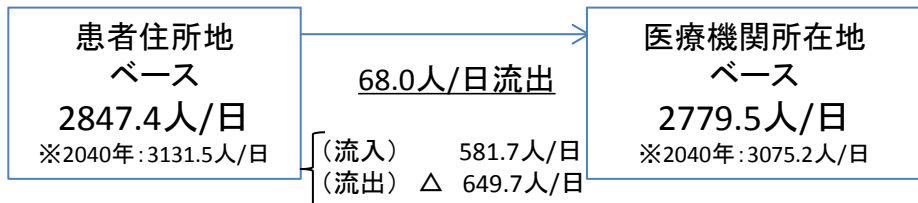
- 流出と流入の患者数はほぼ均衡
- 流出先・流入元は区部の近隣構想区域と神奈川県がほとんどを占める。
- 自構想区域完結率が73.6%で都内で最も高く、都内隣接区域を含むと90.1%
- 特定機能病院が2施設所在

《凡例》

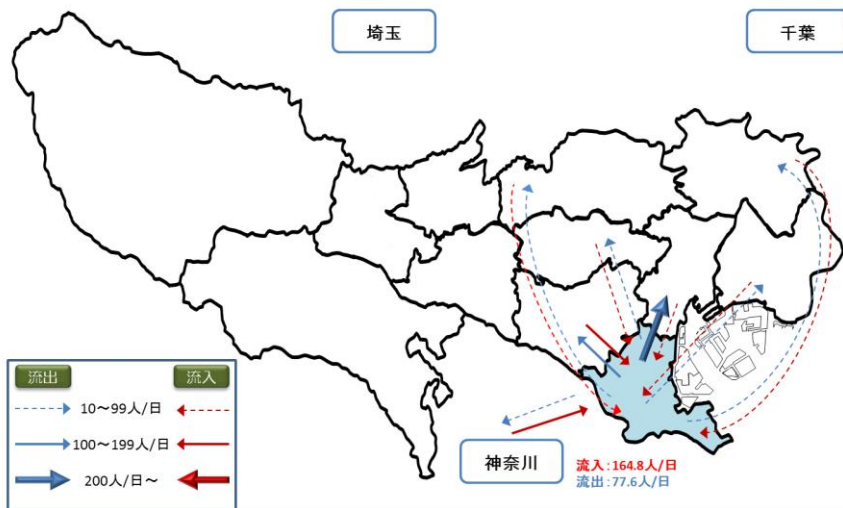


※ 自構想区域完結率: 区南部に住所を持つ患者が、区南部の医療機関に入院している割合
 ※ 必要病床数等推計ツールでは、患者等の集計単位が10未満の場合非公表となっている。そのため、本資料では10未満の数値については未集計である。

2025年推計患者数



流出入の状況



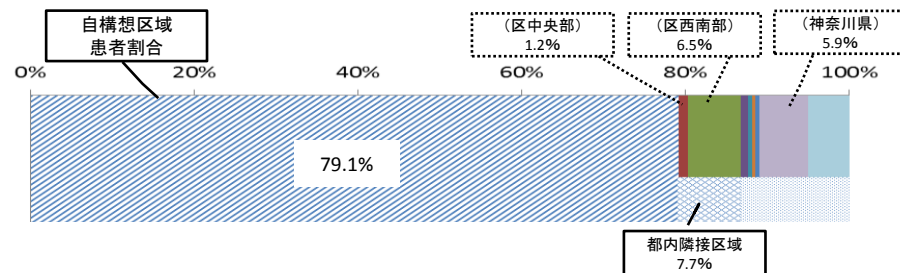
流入

1	区西南部	179.5人/日
2	神・横浜北部	65.1人/日
3	神・川崎南部	49.1人/日

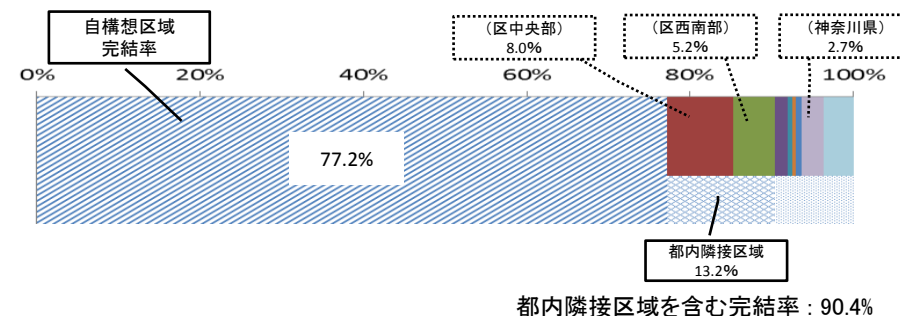
流出

1	区中央部	228.7人/日
2	区西南部	148.4人/日
3	神・川崎南部	45.9人/日

(流入)構想区域内の患者割合



(流出)構想区域内在住の患者入院先



- 流出と流入の患者数はほぼ均衡
- 流出先・流入元は区部と神奈川県がほとんどを占める。
- 自構想区域完結率が77.2%と都内で最も高く、都内隣接区域を含むと90.4%

《凡例》

- 区南部
- 区中央部
- 区西南部
- 区西部
- 区西北部
- 区東北部
- 区東部
- 西多摩
- 南多摩
- 北多摩西部
- 北多摩南部
- 北多摩北部
- 島しょ
- 埼玉県
- 千葉県
- 神奈川県
- その他・未詳

※ 自構想区域完結率：区南部に住所地を持つ患者が、区南部の医療機関に入院している割合
 ※ 必要病床数等推計ツールでは、患者等の集計単位が10未満の場合非公表となっている。そのため、本資料では10未満の数値については未集計である。

2025年推計患者数

患者住所地
ベース

2503.5人/日

※2040年:2782.4人/日

46.8人/日流出

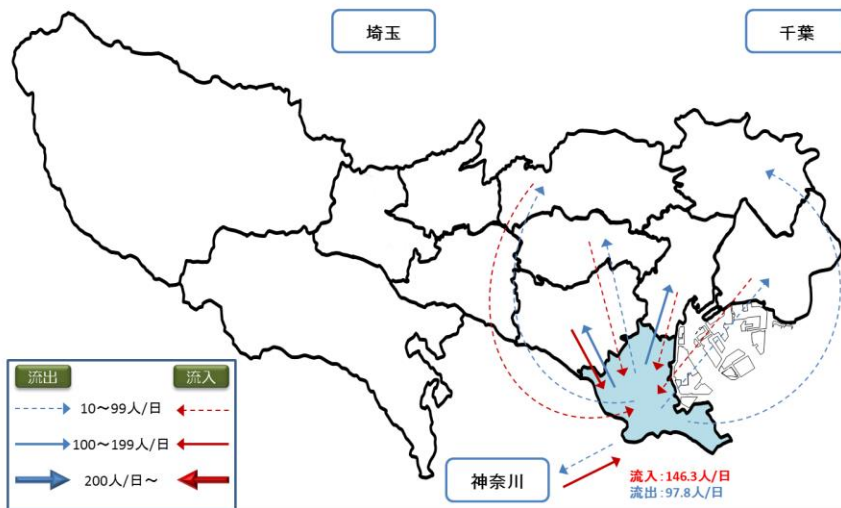
{ (流入) 575.0人/日
(流出) △621.9人/日

医療機関所在地
ベース

2456.6人/日

※2040年:2745.6人/日

流出入の状況



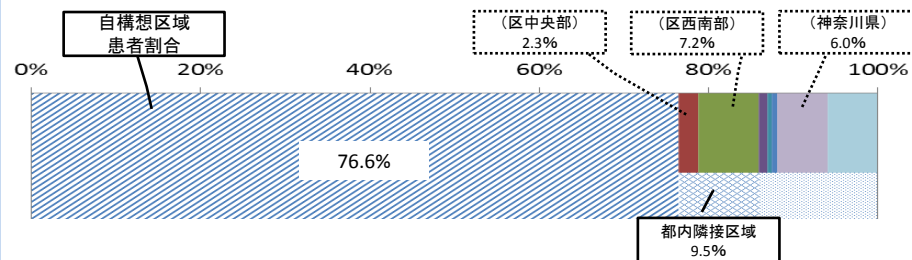
流入

1	区西南部	175.8人/日
2	区中央部	55.8人/日
3	神・横浜北部	54.0人/日

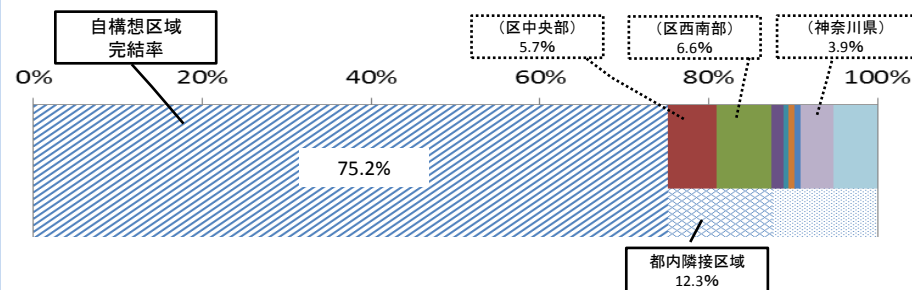
流出

1	区西南部	166.0人/日
2	区中央部	142.8人/日
3	神・川崎南部	41.1人/日

(流入) 構想区域内の患者割合



(流出) 構想区域内在住の患者入院先



都内隣接区域を含む完結率: 87.5%

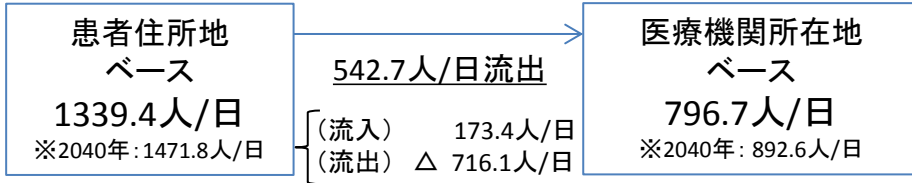
- 流出と流入の患者数はほぼ均衡
- 流出・流入の傾向は、急性期と同様
- 自構想区域完結率が、75.2%と区部で最も高く、都内隣接区域を含むと87.5%

《凡例》

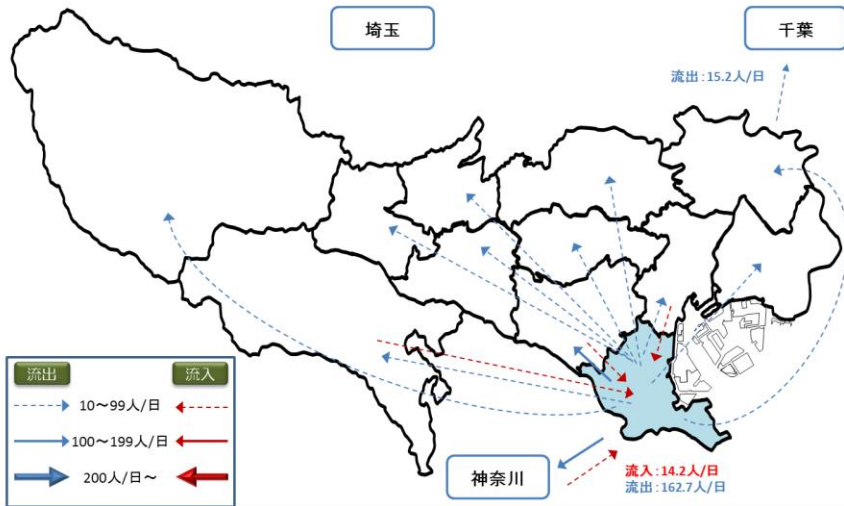


※ 自構想区域完結率: 区南部に住所地を持つ患者が、区南部の医療機関に入院している割合
 ※ 必要病床数等推計ツールでは、患者等の集計単位が10未満の場合非公表となっている。そのため、本資料では10未満の数値については未集計である。

2025年推計患者数



流出入の状況



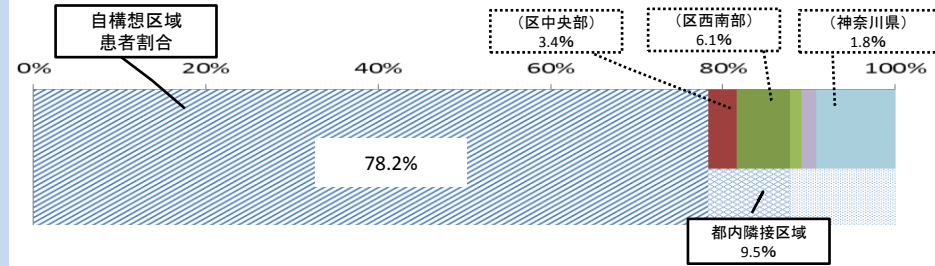
流入

1	区西南部	48.6人/日
2	区中央部	26.9人/日
3	神・横浜北部	14.2人/日

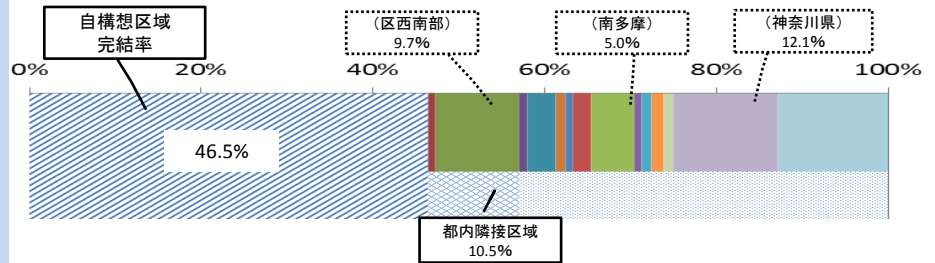
流出

1	区西南部	129.6人/日
2	南多摩	66.5人/日
3	神・横浜北部	59.7人/日

(流入)構想区域内の患者割合



(流出)構想区域内在住の患者入院先



都内隣接区域を含む完結率: 57.0%

- 患者の約半数が流出しており、流出先では、神奈川県が多い。
- 医療療養病床は、高齢者人口10万対で都平均の約7割
- 介護療養病床は、高齢者人口10万対で都平均の約1.6倍
- 自構想区域完結率は46.5%で、都内隣接区域を含んでも6割を切る。

《凡例》

- 区南部
- 区中央部
- 区西南部
- 区西部
- 区西北部
- 区東北部
- 区東部
- 西多摩
- 南多摩
- 北多摩西部
- 北多摩南部
- 北多摩北部
- 島しょ
- 埼玉県
- 千葉県
- 神奈川県
- その他・未詳

※ 自構想区域完結率：区南部に住所地を持つ患者が、区南部の医療機関に入院している割合
 ※ 必要病床数等推計ツールでは、患者等の集計単位が10未満の場合非公表となっている。そのため、本資料では10未満の数値については未集計である。